

「第74回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和5年7月12日（水）14時10分～15時23分
- 参加人数：6人（欠席11人） 傍聴：2人

1 デマンド型交通の検討について

(1) 実証実験運行に向けた検討課題について

① 2つの運行エリアのうち、一部の乗降場所のみエリアを跨ぐ利用について

公共交通課

昨年度実施したアンケート調査やこれまでの要望等から、市役所周辺までの交通手段の確保が求められている。そのため、改めて鷹の台駅西側エリアから上水本町エリア内の中央公民館までのエリアを跨ぐ運行について、検討していただきたい。

[質疑]

座長

運行エリアを越える運行について考えるに当たり、上水本町エリアから鷹の台駅西側エリアへ行くことはあるか。また、逆に、鷹の台駅西側エリアから上水本町エリアへ行くことはあるか。

参加者

上水本町エリアから、鷹の台駅や中央公園、市民総合体育館へ行くことはあるが、鷹の台駅西側エリアへ行く用事はない。

参加者

鷹の台駅西側エリアの住民は、上水本町エリアへ行くことはほとんどないと思われる。

公共交通課

基本方針を策定するに当たり、市民意見・ニーズを把握するために、昨年実施したアンケート調査で、「市役所へ行きたい、地域活動で中央公民館へ行きたい」という要望があった。

エリアを越えると運行に時間が掛かり、効率的な運行ができなくなることで、予約を受けられる件数が減ってしまうことが想定できる。そのため、エリアを越える運行について、実際に利用する状況やニーズを踏まえ、改めて考え方や方向性を検討いただきたい。

座長

市役所へ行く理由は何か。市役所1階で手続きができるものについては、ほとんど出張所や動く市役所で手続きができるので、市役所へ行く理由は少なくなっているのでは。地域の活動として、中央公民館や福祉会館へ行く頻度はどの程度か。

参加者

催物は、中央公民館や福祉会館は多いので、利用の頻度は高いと思われる。

参加者

上水本町エリアから、月2回程、中央公民館や福祉会館へ行くことはある。

参加者

雨が降った時は、エリアを越える運行があれば便利である。

参加者

現在は、元気なので自転車で行くことができる距離なので、不要と考える。

公共交通課

生活交通として定期的にご利用するかどうか重要であり、エリアを跨ぐ運行の判断基準になってくると考える。

参加者

生活交通としての具体的な目的は何か。

公共交通課

買物、通院、通勤、公共施設、駅への移動などが挙げられる。

参加者

通院先として考えられるものは。

公共交通課

かかりつけ医として、内科、整形外科、歯科、眼科などが挙げられる。

参加者

医療マップと一緒に周知の案内を配ってはどうか。需要を喚起することができるのでは。

座長

これまでの意見から、上水本町エリアと鷹の台駅西側エリア相互間の移動については、ニーズとして声はあるものの、実際に一定の利用につながる可能性は低いと想定できる。よって、エリアを越える運行はしないことでいかがか。

全員

異議なし。

公共交通課

実証実験運行を実施する中で、エリアを越える移動の要望や実態が把握できた時は、継続運行に移行する時などに改めて検討することは可能である。

参加者

実証実験運行の実施に当たっては、エリアを越える運行についての要望が出る可能性があるため、「運行はエリア内に限り、エリア外へ運行しない」ことを明確に説明すべきである。

公共交通課

乗降場所については、考える会の皆さんと実際に地図を広げて、スーパーや病院、公共施設、駅などの候補地となる場所に、シールを貼る作業を行った。今後、安全に乗降できる場所かどうか、実際に現地に出向き、警察署と連携して確認していくことになる。

②乗り合い状況について

座長

前回の会議で、近隣自治体のデマンド型交通の乗合状況について、調べてきて欲しいという意見があったので、公共交通課から説明していただきたい。

公共交通課

資料「近隣自治体のデマンド型交通の乗合状況」に基づき、説明

1 東久留米市「デマンド交通 くるぶー」

- ・令和2年9月から5年間、市内全域で、定員9人のワンボックス車両3台による実証実験運行を実施中である。利用するには事前登録が必要で、対象者を70歳以上、妊婦、0～3歳児に絞っている。乗降場所は、主に公共施設で、自宅も含む。
- ・乗合率とは、1便当たりの乗車人数のことで、運行開始当初の令和2年3月は1.44人であったが、周知・PRを積極的に行ったことにより、令和5年3月には1.65人と徐々に上がってきている。
- ・相乗率とは、全運行の内、相乗になった割合のことで、令和2年3月は38%であったが、令和5年6月には45%と徐々に上がってきている。

2 三鷹市「大沢地区A I デマンド交通」

- ・令和4年9月から1年間、大沢地区という交通不便地域でタクシー車両2台による実証実験運行を実施中である。事前登録は不要で、対象者は絞っていない。

- ・相乗率は、運行開始当初は36.6%であったが、令和5年7月には37.5%と徐々に上がってきている。乗合率は、算出していないとのこと。
- ・東久留米市と三鷹市を比べると、東久留米市の方が相乗率が高い。東久留米市は、対象者が0～3歳児であるため、親と一緒に乗車することになるので、高めの数字が出ると考えられる。

[質疑]

参加者

相乗率を算出する際には、家族と乗車した場合と、他人と乗車した場合に分けているのか。

公共交通課

分けていないと思われる。

参加者

東久留米市の対象者は、70歳以上や0～3歳児なので、病院に行くことが主な利用目的と想定でき、利用が同じ時間帯に重なり相乗りなることから、相乗率が高く出ると考えられる。

参加者

他自治体を参考にして、対象者の内、何割程度が登録するのかを調べてみることで、傾向をつかめるのでは。

参加者

南西部地域の人口から、利用登録者数がどれくらいになるのか、想定する必要がある。

公共交通課

令和4年12月開催の考える会の会議資料において、東久留米市の利用登録状況を示している。70歳以上、妊婦、0～3歳児といった対象者の申請割合は、13.5%である。

交通利便性の高い小川町二丁目、津田町、学園西町を除いた南西部地域における、65歳以上の人口は7,420人である。上水本町エリアと鷹の台駅西側エリアを比較すると、上水本町エリアは鷹の台駅西側エリアの約3分の1になると想定している。

(2) アンケート調査の実施について

座長

以前、実証実験運行の実施に当たり、事前にデマンド型交通に対する意識や利用見込みを把握するとともに、周知・PRのため、アンケート調査の実施について、提案があった。

そのことについて、公共交通課から説明していただきたい。

公共交通課

当市としてデマンド型交通は、新しい交通なので、まずはどういったものかを知っていただくことが重要と考える。また、実証実験運行を実施した場合に、利用するのか意向を事前に確認することで、乗車人数の見込みを出す際の参考にすることができるのでは、と昨年度の会議で意見をいただいた。

アンケート調査において、デマンド型交通に対する意見や疑問を事前に伺うことで、運用方法や利用促進を図る工夫に繋げていけると考えるが、改めて、意見等を伺いたい。

参加者

デマンド型交通を体験したことがない人が、仕組みを知らない人に説明するのは難しいのではないかと。アンケートを実施しても、デマンド型交通のことが良く分からない人は答えられないのではないかと。

参加者

実際に、三鷹市のデマンド型交通に乗車体験してみるのが良いと考える。

参加者

自治会やイベントなどに出向いて、デマンド型交通について説明するだけでなく、意向や反応を確かめることが必要と考える。

公共交通課

まずは、様々な機会を捉え、デマンド型交通の実証実験運行に向けて準備を進めている、という動きを知ってもらうことが必要と考える。

参加者

地域の方が求めているものを、確認することは必要である。タイミングを捉えて、アンケートを実施してみることも必要と考える。

(3) その他

参加者

予約の受付期限は、利用日の前日までにしてはどうか。そうすることで運行ルートを調整して、相乗率を高めることができるのではないかと。

公共交通課

今後、受付予約配車システムの導入に当たっては、相乗率を上げるための工夫をシス

テムに反映することができるか確認する。

参加者

運賃は、一人で乗っても、3人で相乗りしても、300円ずつかかるということか。

公共交通課

これまで、考える会において検討した中では、割引はなく一人300円を想定している。

座長

PRや周知をする際に、良い方法や場所はあるか。自治会の集まりへ出向いて、意見交換することもできると考えるが、どんな集まりがあるか。

参加者

地域センターでの高齢者の集まりや、自治会の老人会などがあるので、今度、周知の場として活用できるか確認してみる。

参加者

実証実験運行に向けて、どんなスケジュールで進めていくのか。

公共交通課

今年度は、補正予算でデマンド型交通のシステム選定や実施計画策定に係るコンサルタントへの業務委託費について要求し、実証実験運行に係る経費については、それを踏まえ、令和6年度に予算化したいと考えている。

参加者

運転手や車両、予約・配車システムの準備をする必要があると思うが、実証実験運行の開始はいつ頃か。

公共交通課

令和6年度の早い時期に開始できるよう、考える会においても検討を重ねるとともに、関係機関等との準備を進めていく。

参加者

人件費や燃料費、システム利用に係る経費はどれくらい掛かるのか。

公共交通課

基本的には、コミュニティタクシーに準じた考えがあるが、デマンド型交通は予約・配車システムを導入するため、それに係る経費が上乘せになる。そのため、現在、運賃300円と想定しているが、乗車状況によっては、値上げする可能性もある。

参加者

現在、タクシーの初乗り運賃が500円なので、それよりも安い金額でないと利用者にとっては意味がない。タクシーよりも安く利用できることのメリットや利用に当たりどんな制限があるかを分かりやすく説明する必要がある。

参加者

次回、タクシーの料金体系を示してほしい。

公共交通課

実証実験運行に向けて、周知・PR方法などについても、次回、提案し検討していただきたい。

2 その他

(1) 市からの情報提供

特になし

(2) 参加団体からの情報提供

- ・上鈴木自治会より：7月22日（土）盆踊り大会 ※4年振り
- ・8月5日（土）灯りまつり

《今後の予定》

- ・開催日時：令和5年9月13日（水）14時～15時30分
- ・開催場所：小川公民館 ホール

次回は、デマンド型交通の実証実験運行に向けた課題について、引き続き検討する。
また、デマンド型交通の周知・PR方法について検討する。